

単元の目標

家庭生活について、調べたり、尋ねたり、実際に行ったりすることを通して、家庭での生活は互いに支え合っていることに気づき、家庭生活を支えている家の人のよさや、自分でできることなどについて考え、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活しようとするができるようにする。

単元の評価規準

知識及び技能の基礎	思考力・判断力・表現力等の基礎	主体的に学習に取り組む態度
① 家庭生活にはたくさんの仕事があることを知り、互いに支え合っていることがわかる。 ② 自分がしようと思う仕事に必要な道具を使うことができる。 ③ 自分でできることに取り組むことで家族が喜んでくれることを感じ取り、自分の活動の良さに気付く。	① 家の仕事に対する思いや願いから、自分でやってみたい仕事を決める。 ② 家の仕事について尋ねたり、実際にやってみたりする。 ③ 仕事を上手にこなすためのコツ、気持ち良い生活を送るための工夫を見付ける。 ④ 気付いたことや考えたこと、楽しかったことなどについて、多様な方法で伝え合う。 ⑤ 他者の意見や感想に耳を傾け、次の活動に活かすことができる。	① 家庭生活をよりよくするために、身近な人に聞いたり、繰り返し家庭の仕事に取り組んだりしようとしている。 ② 自分の役割を見出し、進んで取り組んだり、生活のリズムや健康に気を付けた暮らしを継続したりしようとしている。 ③ 家の仕事を教え合う中で、自分の成長や友だちの良さに気付いている。

学習展開

小単元名	学習活動
お仕事名人！ ～ピカピカ！ しごとのコツ ゲットだぜ!～ 2 学期 全24時間	か お家での役割について考える。（算：わかりやすくせいりしよう）
	じ お家のお仕事をやってみる。
	せ やってみて気付いたことを出し合う。
	ま よりよくお仕事をするための工夫を伝え合う。（国：しらせたいな、みせたいな）
	か もっとよりよく仕事をするために必要なことを話し合う。
	じ お家の仕事をやってみる。
	せ もっとよりよく仕事をするためのコツを見付ける。
	ま お家のお仕事のコツを紹介する。【本時】
	か 支えてくれているお家の人のために自分にできることを考える。
	じ お家の人に聞いてみる。友達と話し合う。
	せ 自分にできることを決める。
	ま 決めたことをやってみる。「ありがとう」をお家の人に伝える。

※「か」→課題設定 「じ」→情報収集 「せ」→整理・分析 「ま」→まとめ・表現 を表しています。

指導にあたって

本学年の児童は、1学期に学校探検を繰り返し、学校の「宝物」とは何かについて考えてきた。同じクラス、学年の友だちと協力し、話し合いを重ね、学校にいる友だち、先生、給食の配膳員、校務員など、自分たちの成長に携わってくれるさまざまな「人」が宝物であると考え、「ありがとう」を伝えることができた。

本単元では、学校から家庭に視点を変え、家での自分や家族の役割について考え、自分たちが楽しく学校に通うことができるように支えてくれていることに気づき、自分たちが家でできることを考えるようにする。また、お家の仕事を体験し、毎

日こなすことの大変さに触れることを通して、それでもお家の人が自分たちのために欠かさず働いてくれている思いに気付くことで、お家の人への感謝の気持ちを持ち、伝えてほしいと願っている。

本時の目標

よりよく仕事をするためのコツを、自分なりの方法で伝えることができる。【思考力・判断力・表現力④】

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	支援（○）と評価（☆）
導入 (5分)	1. 前時の学習を振り返り、本時の学習の見通しを持つ。 ・本時のめあてを確認する。	○今までの流れがわかるように、黒板に示す。 ○黒板にめあてを示す。
	㊦ しごとのコツをしょうかいしよう。	
展開 (30分)	2. グループに分かれ、仕事のやり方や、工夫を伝える。 ・「名人（児童）」が、「お客さん（参観者）」に仕事を体験させながら、自分なりの方法で「コツ」を教える。 ・「お客さん」は、複数の仕事を体験する。 ・「お客さん」は仕事のコツがわかったら、各コーナーに「仕事のコツゲットだぜシール」を貼る。 ・お風呂 ・洗濯 ・ご飯・食器 ・水筒の準備 ・ゴミ出し ・靴洗い ・ペットの世話 ・トイレ掃除 ・掃除機 ・拭き掃除 など	○子どもたちが活動しやすいように、コーナーをつくり、事前に必要な物を用意しておく。 ☆よりよく仕事をするためのコツを、自分なりの方法で伝えることができる。【思考力・判断力・表現力④】（観察） ○伝わりにくさを子ども自身が気づいて、自分の力で調整できるように、子どもたちのやりとりの場を大切に、繰り返し活動できるだけの時間を確保する。 ○繰り返し活動する中で、伝え方が上手になっている姿をとらえ、上達した点を、個々、チーム、全体に伝える。
まとめ (10分)	3. 学習の振り返りを行う。 ・「お客さん」にインタビューをする。 ・「名人」が感想を言う。 ・今後の流れについて確認する。	○仕事のこつを自分なりに伝えられた満足感や新たなことを知った楽しさを共有する。もっとがんばりたいことは、これからの活動に活かせることを確認する。 ○ここでは、対話を大切にする。ワークシートでの振り返りは次時に行う。